
運命の死神たち

阿雲

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

運命の死神たち

【Nコード】

N0551H

【作者名】

阿雲

【あらすじ】

いじめにあっている高校生雨宮雫は、突然現れた謎の青年、零黄兇獅郎と出会う。雫は死神の守護者であり、五神の使いであることを彼から知り、仲間を見つけて、謎の組織『阿修羅』を壊滅させ、雫を本物の守護者とするのが、彼の目的で……。雫と兇獅郎の運命の歯車が今回りだす。

プロローグ

「ハア．．．ハア．．．．．ハア．．．」

「「．．．．．兇．．．獅．．．郎．．．助．．．け．．．て．．．」」

「．．．し．．．ず．．．」

ザアーーーーと降る大雨が血の色と混ざる感触がした。

「私．．．もう死んじゃうのかなあ．．．」

「．．．．．しず．．．く．．．し．．．」

「．．．．．兇．．．獅郎．．．？．．．」

彼女の、前に現れた人影は少しずつ近いて来た。

「・・・零・・・大丈夫か？・・・」

私は頭をコクリと動かしてうなずいた。

-----これから彼女たちの運命が刻一刻と迫ろうとしていた

プロローグ（後書き）

初めて書きました！たぶんヘタだと思いますが、
読者のみなさんこれからよろしく願います！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0551h/>

運命の死神たち

2010年12月10日02時22分発行